

## 会議要旨

### 【開催概要】

|                    |  |
|--------------------|--|
| 会 議 名 称            | 第3回富田林市子ども・子育て会議   |
| 開 催 日 時            | 平成 26 年 3 月 27 日（木） 15：00～17：00  |
| 開 催 場 所            | 富田林市消防署4階 視聴覚室   |
| 出 席 委 員<br>(名簿順表記) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・井上委員（会長）・横浜委員・中尾委員（副会長）</li> <li>・福田委員・久米委員・吉田委員・松村委員</li> <li>・西谷委員・杉分委員・岡本委員・岡野委員</li> <li>・吉岡委員・松田委員・北谷委員・糸賀委員（計 15 名）</li> </ul>   |
| 欠 席 委 員            | 開沼委員・西尾委員・天正委員   |
| 事 務 局              | <p>子育て福祉部：藤田部長、教育委員会教育総務部付：芝本部長<br/>         子育て福祉部：青木次長代理、教育委員会：澤口参事<br/>         保育課：辻野参事兼課長代理、大岡主幹<br/>         子育て支援課：寺元課長、谷田課長代理、坂本係長<br/>         ぎょうせい：木村、稲垣</p>  |
| 会 議 次 第            | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 会議資料の説明</li> <li>3. 案 件             <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育保育の提供区域の設定について</li> <li>・アンケートに基づくニーズ量推計結果の報告</li> <li>・子育て支援の現状と課題について</li> </ul> </li> <li>4. その他</li> <li>5. 閉会</li> </ol> |
| 公 開 / 非 公 開        | 公開   |
| 傍 聴 者              | 4人   |
| そ の 他              | なし   |

【議事要旨】

|                   |  |
|-------------------|--|
| <p>事務局<br/>会長</p> | <p>●教育・保育提供区域の設定についての説明。<br/>◇教育保育の提供区域の設定について本市全体で1区域にする事務局の提案について、ご意見をうかがいたい。</p>  |
| <p>委員</p>         | <p>◇もし区域を分けた場合、その1区域に何か1つ施設等を造らないといけないのか。</p>  |
| <p>事務局</p>        | <p>●そこにニーズがあれば、何らかの施設等を整備しなければいけないが、現在、いろいろなサービスのニーズを検討している段階である。サービスによってニーズがほぼ0という場合もあるが、こうしたサービスに施設整備の必要があるか、また、施設を整備する場合にも本市の市民サービスや財政に適しているかなども検討していく必要があると思う。</p>   |
| <p>委員</p>         | <p>◇子どもたちのために、質の高いサービスを提供していくことが施策の原点だと思う。そのために市ではいろいろなサービスを考えていると思うが、新しい施設を整備するだけでなく、既存の施設をもっと充実させていくことも大事だと思う。</p>   |
| <p>事務局</p>        | <p>●新しく施設を整備するというだけでなく、いろいろな手法がある。ニーズは少ないが切実な要望と捉えて、新たに施設を整備することもあり得る。また、ニーズが多い場合には現行の施設を拡大したり、新たな施設を整備したりすることなども考えていかなければならない。さらにはサービスを提供するための体制づくりなども含めて、この会議で議論していただければと思う。</p>   |
| <p>委員</p>         | <p>◇区域は市全体としてという考え方でよいのか。サービスや施設整備が偏ることがないようにしてほしい。</p>  |
| <p>委員</p>         | <p>◇提供区域を1区域という案だが、区域（エリア）によってニーズが違うことを実感している。祖父母と同居し助けがいない家庭もあれば、核家族の家庭もある。区域を分けた方がニーズは分かりやすい。</p>  |
| <p>事務局</p>        | <p>●区域ごとにニーズ量を分析して、そこからサービスを考えていくことが今回求められていると思う。今の段階では区域ごとのニーズを示していないが、今後は区域ごとのニーズを示していくことになる。</p> <p>先に区域を分けてその区域で施設展開を考えていく場合、それほど広くない市域の中で、施設整備のスピードや方法などによって区域毎の差がどうしても出てしまう。そのため、サービスが充実していない区域に住む人が、充実している区域のサービスを受けるケースも考えられるが、実際に提供するうえでは利用調整する必要があり、時間がかかってしまうことも想定される。</p> <p>そういう利便性を考えると近くに施設があることは理想だが、狭い市域の</p> |

|                   |  |
|-------------------|--|
|                   | <p>中で細かい区域分けをすることは合理性に欠ける部分がある。そのため、先に区域割りをするのではなく、まず市全体で見る。その上で区域のニーズを見ながら、市全体という1つの区域であれば、その中でニーズに応じた施設展開を検討する方が円滑に推進できると考えている。</p>  |
| <p>委員<br/>事務局</p> | <p>◇ブロック割りという手法もあると思うがどうか。</p> <p>●厳密にブロックを設定した場合、施設を利用したサービスの提供、例えば一時保育などはブロックをまたいで利用することが難しくなる。需要と供給のバランスをとる必要があるため、他のブロックから移動したいとした場合、余裕がある場合には受け入れられるが、余裕がない場合には受け入れられないというデメリットも考える必要がある。</p>   |
| <p>委員<br/>事務局</p> | <p>◇保育所の地域支援について、保育所の民営化に関して、4つのブロックに拠点を置くということが以前話し合われた。今回の会議で、市全体を1区域とした場合、4つのブロックとの関連性はどうなるのか。また、一時預かりや病後児などのサービスを利用する場合、施設が遠くにあるため利用しにくいので、そのあたりのことも含めた検討が必要である。</p> <p>●公立保育園の民営化にあたって、市域を大きく4区域に分割し、それぞれ1か所の公立保育園を子育てネットワークの中心施設として位置付け、この保育園を拠点とし訪問活動等の地域に密着した子育て支援を実施しているところである。これは、保育サービスの提供に直接影響するものではなく、本施策では、サービスの基本はあくまでもひとつの区域だが、保育所施設のサービスについては4つという考え方も考えられる。こうした点も議論を深めていただきたい。</p> |
| <p>委員<br/>事務局</p> | <p>◇そこにニーズがあるならサービスを提供しよう、ということだったと思う。</p> <p>「区域を越えてサービスを利用できない」ということはないはず。他の自治体では中学校区域にしている事例もある。</p> <p>●基本は1区域だが、今後、区域ごとのニーズをクロス集計し分析していく。そのうえで区域ごとのニーズに見合った事業を展開していきたい。</p>   |
| <p>会長</p>         | <p>◇今後、区域ごとのニーズを把握していくという約束で進めていただきたい。特に反対意見がないようなので、1区域に決定する。</p>   |

|           |  |
|-----------|--|
| 事務局<br>会長 | <p>●人口推計とニーズ量の見込みについての説明(記録省略)</p> <p>◇今後5年間のニーズ量の見込みについて意見や質問をうかがいたい。</p>   |
| 委員        | <p>◇資料(教育・保育提供区域の設定について)の7ページの学童クラブと学校との一貫性とあるが、どういうことなのか?</p>   |
| 事務局       | <p>●学童クラブは小学校の放課後に利用するので、現実的には通学している学校以外の学童クラブに行くことはなく、基本1区域と提案しているが、実際には学校の数と同じ提供区域とするという意味である。</p>   |
| 委員<br>事務局 | <p>◇学童クラブには、小学校のように保健師や保育士などはいるのか。</p> <p>●指導員が2人常駐し、学童の利用人数によって人員を加配しているクラブもある。学童クラブ専任として保健の先生などは配置していない。</p>   |
| 委員<br>事務局 | <p>◇事故があった場合など、万一に備えて対応できる体制を検討してはどうか。</p> <p>●今後、そうした体制を含めて検討していく。</p> <p>現在、認可外保育施設でも低学年を預かっている施設もある。また、大都市圏では民間が委託を受け、送迎込みで学童クラブを実施しているケースもあるようだ。学童クラブを民間に委託して内容を充実させていくような手法も、今後、検討していく課題のひとつと考える。</p>   |
| 委員<br>事務局 | <p>◇学童クラブのニーズは把握しているか。</p> <p>●今回の資料には入れていないが、推計では低学年は平成31年度で942人、高学年では547人、合計で1500人近くのニーズが想定されている。一方、現在、実際の利用が約900人である。</p> <p>このように、実際の利用者とニーズとの関係をどのように考えたらいいのかなどを分析した後で皆さまに示したい。</p> <p>また、教育保育のニーズの見込みについて、0歳児のニーズが多く出ているのはアンケートの設問上の問題でもある。また、逆に、ショートステイなどのニーズが0の事業もある。こうした推計結果を見ながら、なんらかの補正が必要と考えている。ニーズについては改めて皆さまに諮りたい。</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>●子育て支援の現状と課題について説明。(記録省略)</p> <p>なお、これに関連して事前に質問として頂戴した発達障がい児支援については、毎年、介助員を増やしたり、特別支援教育を行うなど内容を充実させてきている。</p>   |
| 会長  | ◇子育て支援の現状と課題について意見や質問をうかがいたい。   |
| 委員  | ◇新しい制度ではどうしても待機児童解消など保育にスポットが当たる。しかし、保育園だけではなく、普通に幼稚園に通わせている家庭や子ども(1号認定)をはじめ、特別支援教育などにもスポットを当てた支援をお願いする。  |
| 事務局 | <p>●保育園と幼稚園の支援に違いがあってはならないし、どちらも同じように等しく質の高い幼児教育を受けていただかないといけないと考える。</p> <p>全国的には平成29年度が人口減少のピークだと予測されているが、富田林市はそれより早く減少を迎える。子どもが減少する中で、今後どのようなサービスを提供していくか本市の計画策定の中で一番重要になる。今後この会議の議論の中で考えていけたらと思うので、ご協力をお願いしたい。</p> |
| 委員  | ◇現在、コアタイム前後の費用は国から補助金がでていますが新しい制度によって、利用者負担が増える恐れがある。利用者負担があがらないよう、財政措置を検討いただきたい。   |
| 事務局 | ●利用者負担についてはこれから検討していく。  |
| 委員  | ◇資料(子育て支援の現状と課題)の15ページ以降の見方を教示いただきたい。現行計画の目標を変更せずにこれから進むのか。それともニーズ調査した結果をもとに目標を変更することも考えるのか。  |
| 事務局 | ●現行計画の目標に対し、現時点の課題であると理解していただきたい。   |
| 委員  | ◇現行レベル、それ以上のサービスを提供できるか。  |
| 事務局 | ●まず、現行の目標がどの程度クリアされているかを検証する必要がある。そのうえで、新たな目標を設定していく。それを皆さまと一緒にこの会議で検討していきたい。   |
| 委員  | ◇今後、公立の幼稚園の預かり保育について、17、18時まで実施する方向なのか。   |
| 事務局 | ●一定ニーズはあると思うが、定員に対する在園児の比率が低い。そのうえで、預かり保育を希望する方がどの程度いるのか。また、実施することでどんなニーズがあるのか。今後ニーズと利用料負担のバランスを見ながらの検討になるが、市の財政的には厳しい見込みである。   |
| 委員  | ◇認定こども園など、ほかの方法で何か検討はできないか。   |
| 事務局 | ●公立幼稚園の預かり保育だけの話であれば、他のサービスで対応するなど幅広く考えていきたい。この会議で検討を進めていきたい。   |

|           |  |
|-----------|--|
| 委員<br>事務局 | <p>◇各委員で課題を確認し、次回の会議までに適宜提案していただきたい。</p> <p>●変更は可能なので、ご意見があればご指摘などいただきたい。</p>  |
| 委員        | <p>◇子育てに関する費用について、わかりやすい資料提供に感謝している。資料を見るとどれだけお金がかかっているかを理解できる。</p>  |
| 委員<br>事務局 | <p>◇0歳の保育ニーズについてどう捉えたらよいのか。また、本年4月現在の待機児童の状況について教えてほしい。</p> <p>●正確なニーズが把握できていないが、0歳児のすべてが0歳児保育を必要とするかという点を1～2歳児を含めて精査していく。</p> <p>待機児童に関しては昨年、今年の4月1日現在はゼロである。希望するところに空きがないということで待機している保護者もいるが、そういうケースも去年に比べて今年の方が少ない印象を持っている。</p>   |
| 委員<br>事務局 | <p>◇子育て支援の現状と課題について、いつまでに意見を言えばよいのか。</p> <p>●次回の子ども・子育て会議は5月に予定している。事前に会議資料やご意見等についての用紙をお送りするので、そこでご意見をいただきたい。</p>   |
| 委員<br>事務局 | <p>◇発達障がい児の支援施設は河内長野市にはあるが、遠くて行けない人もいる。発達障がいの子どもたちのために介護員は増えているという説明だったが、近い場所の施設で早くから支援してもらえれば、親も子どもも苦しむ時間が少しでも減る。富田林市にも療育機関を設けてほしい。</p> <p>●子育て福祉部では26年度から保育・子育て支援・幼稚園の入園事務等を所管する課をすべて統合させ、部内に「こども未来室」を設置し、子どもに関することを一括対応できる体制とする。子育て支援に係る新たな施策として、26年度から発達障がいをもつ児童への早期支援として、妊産婦から成人期までの子どもを持つ保護者を対象者とし、発達障がいに関する子育てについての相談窓口を設置、専門職を常勤で2人配置する予定である。</p> <p>市内には発達障害児が約300人いる見込みであり、その方々を各機関との連携を進め、支援していきたい。</p> |
| 委員<br>事務局 | <p>◇富田林市の保育園は急に民営化になることもなく、また他市町村と比べても安価で、運営もしっかりしていると認識している。しかし、保育園に預けている保護者は認定された後の保育料がどうなるかに高い関心を持っている。保育料はいつごろ決まるのか。</p> <p>●保育料に関しては国からの基準がまだ示されていないため、まだお示しできない。保育料は現行レベルを維持したいと考えているが、国の基準が示された後に市で試算し、検討していくことになる。</p>   |
| 会長        | <p>◇以上で、第3回会議は終了する。</p>  |